

第3号様式（第5条関係）

禁止行為の解除承認申請書

(1) 年 月 日			
志太広域事務組合 消防長 宛		(2) 申請者 住 所 (電話番号) 氏 名	
志太広域事務組合火災予防条例第23条第1項の規定による指定場所における禁止行為について同項ただし書の規定による解除の承認を受けたいので、次のとおり申請します。			
防火対象物	所在地	(3) (電話番号)	
	名 称	(4)	用途 (5)
	代表者	(6)	
解除を受けようとする行為等	種 類	(7) 喫煙 裸火使用 危険物品持込み	
	期 間	(8)	
	場 所	(9)	
	理 由 及 内 容	(10)	
行為者 (責任者)	住 所	(11) (電話番号)	
	名 称	(11)	
	氏 名	(11)	
火 災 予 防 上 の 措 置	(12)		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

備考

- 1 使用する防火対象物の略図を添付すること。
- 2 ※印の欄は、記入しないこと。
- 3 正本及び副本各1部を提出すること。

禁止行為の解除承認申請書 記入例

項 目	記 入 要 領	
(1) 年月日	申請書を消防本部に提出する年月日を記入します。	
(2) 申請者	<ol style="list-style-type: none"> 1 禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物(建物)の所有者、防火管理者等責任が明確な者の住所、氏名、電話番号を記入します。 2 余白に連絡先の電話番号を記載します。 3 法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名を記入し、押印します。 	
防火対象物	(3) 所在地	禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物(建物)の所在地及び電話番号を記入します。
	(4) 名称	防火対象物(建物)の名称を記入します。 【例】〇〇ビル、□□会館
	(5) 用途	防火対象物(建物)全体の用途を政令別表第1に掲げる用途区分に応じて記入します。 【例】劇場、ホテル、飲食店、スタジオ、展示場、複合用途等
	(6) 代表者	防火対象物(建物)の代表者の氏名を記入します。
解除を受けようとする行為等	(7) 種類	解除を受けようとする行為等の種類を○で囲みます。 【例】喫煙、裸火、危険物品持ち込み等
	(8) 期間	解除承認を必要とする期間を記入します。
	(9) 場所	申請場所の実態用途を記入します。 【例】舞台、大道具室、売場、加工場等
	(10) 理由及び内容	解除承認を必要とする理由を具体的に記入します。 【例】演劇の演出効果を上げるため、客に対するサービスのため等 行為内容を具体的に簡記します。 【例】第2幕で火薬(爆竹)を使用し、爆発音を出す。 スモークマシンで煙を発生させ、演出効果を高める。
行為者・責任者	(11) 住所、名称、氏名	行為者又は責任者の氏名、勤務先の住所、名称、電話番号を記入します。 なお、行為者が複数いる場合は、行為者の代表者を記入します。
(12) 火災予防上の措置	解除承認を受けようとする行為に対して火災予防上講じた内容を記入します。 【例】消火器(10型)○本と消火係○名を舞台袖に配置する。 自衛消防隊が屋内消火栓のホースを延長し、待機する。 不燃材を床に敷く等。	